

PETRONAS TEAM TOM'S

2012 Formula Nippon Rd.2
TWIN RING MOTEGI
12 MAY 2011

観客数: 6,500 人 (天候 : 晴)

予選



PETRONAS TEAM TOM'S のドライバー、アンドレ・ロッテラーが今季初のポールポジションを獲得。中嶋一貴がロッテラーに続き、トムスが決勝に向けてフロントローを独占した。

- 本大会では一台ずつがアタックするスペシャル・ステージ方式で予選が行われた。
 - ロットレーは朝の練習走行から最速タイムを叩き出し、個人通算 4 回目のポールポジションを獲得した。
 - ロットレーは、チームメイトの中嶋に対して 0.5 秒以上速いタイムでポールポジションを獲得した。
- 中嶋も練習走行から好調で、スペシャル・ステージでも好走を見せた。

Drivers	Car No.	Q1	Special Stage
Andre Lotterer	1	P1 1:33.277	P1 1:33.264
Kazuki Nakajima	2	P3 1:33.823	P2 1:33.779
Weather	Sunny		
Temperatures	Air: 19-19 °C	Track: 32-32 °C	

アンドレ・ロッテラー (Driver for car No.1)

“今日のマシンは最高の状態であった。風があってコンディションは難しかったけれど、雨よりは条件がよいので文句は言えない。難しい状況の中でももっと速く走りたいと言う意欲はあるけれど、全体的には満足している。予選に向けて素晴らしいマシンを用意してくれたチームに感謝したい。一貴に対して 0.5 秒以上速いタイムを出せたのはすごかった。この調子で明日のレースも勝ちたい”

中嶋 一貴 (Driver for car No.2)

“もてぎでのスペシャル・ステージ方式の予選は良かったと思う。マシンの調子は良くて、いいタイムも出せたけれどアンドレには届かなかった。アンドレからなぜ 0.5 秒離れたのかわからない。明日の朝の練習走行で確認してみたい。もてぎでのレースはフロントローからのスタートは重要であり、大きなアドバンテージとなる。アンドレに対しても良いスタートを切りトップに立ちたい”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“我々のツインリンクもてぎに対するセットアップは良く、今日の温度に対するアジャストとその他少しの点に手を加えた。アンドレが最高の走行で大差をつけてポールをとってくれた。これは完全にドライバーの力だ。昨年、我々のもてぎのレースセットアップが良かったので、明日朝の走行でタイヤの摩耗と燃費をチェックする。アンドレが最高のポジションから良いスタートを切って一貴と良いレースを展開してくれることを期待する”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“0.5 秒差はあまり気にしていない。一貴はセクター3 と 4 でアンドレと同じ速さを示し、1 と 2 で遅かった。最初の二つのセクターはあまりプッシュしていなかったのではないかと思う。基本的にクルマの調子は良い。鈴鹿で勝てた 2012 年の新たなセットと昨年のデータを統合したセットアップを考えている。昨年最終戦のもてぎのようにアンドレと一貴が素晴らしいレースを演じて今回は一貴が勝ってほしい”

館 信秀 (Team Director)

“トムスの全スタッフと二人のドライバーに感謝したい。今日の結果はこれ以上望むことのない素晴らしい予選結果だ。アンドレは朝から速さを見せ、一貴も良かったがアンドレのスペシャル・ステージは圧巻だった。モータースポーツを愛する者として明日の決勝は楽しみだ。フロントローからスタートする二人のドライバーがレースをリードして 1-2 フィニッシュを決めてほしい”

2012 Formula Nippon Rd.2
TWIN RING MOTEGI
13 MAY 2012

観客数 : 9,000 人 (天気 : 曇)

決勝

PETRONAS TEAM TOM'S のアンドレ・ロツテラーがツインリンクもてぎで行われたフォーミュラ・ニッポン第2戦でポールtoウイン、中嶋一貴が3位でフィニッシュした。

- フロントローからスタートしたロツテラーと中嶋は共に好スタートを切り、レース序盤をこの2台がリードした。
- 給油とタイヤ交換のためのピットストップの後、アンドレはピットアウトしてきた J-P デ・オリベイラに先行を許したが、すぐさまデ・オリベイラを捕らえてパスすると再びレースをリードし、1位でチェックインを受けた。
- 中嶋は給油に手間取り、ポジションをひとつ落としたてコースに復帰したが、堅実な走りで表彰台を確保。昨年から続いている連続表彰台記録を伸ばした。



Drivers	Car No.	Result / Fastest Lap
Andre Lotterer	1	P1 1:35.531
Kazuki Nakajima	2	P3 1:35.989
Weather: Sunny-Overcast		
Temperatures: Air: 24-22 C Track: 40-33 C		

アンドレ・ロツテラー (Driver for car No.1)

“良いレースだった。スタートを決めてリードできた。もっと差を開きたかったけれど一貴と JP も速かった。前半に JP がうまい走行で燃料をセーブして自分よりも3秒も短いピットストップだった。前に JP が居ることに別に驚きはなかった。ピットイン前も JP は良いドライブをしていたのでオーバーテイクシステムを使って何とか抜き去って再びトップに立つことができた。ニュータイヤでのバランスは良かったがグーズドタイヤだとどうしてもオーバーステアになってしまう。そこが自分のマシンのウイークポイントなんだ。終盤になって急にフロントブレーキがフェードしてしまいバランスが崩れ、それで JP に差を詰められた。だからブレーキのバランスを前に持って行ったら良くなった。もてぎは抜きにくいコースなので JP が迫ってきてもあまり気にはならなかった。週末を通じてマシンの調子が最高だったのでチームに感謝したい。今後もこの調子で勝ち続けたい”

中嶋 一貴 (Driver for car No.2)

“まあまあのスタートを切ってアンドレにチャレンジしたが前には出られなかった。マシンの調子は良く、アンドレについて行ったがピットストップの後にバランスが変わってしまった。JP が早いピットストップで前に出てきて彼について行くのに苦労した。なぜ後半に苦しんだのかその原因を見つけなければならない。再び表彰台に立てたのは自分にもチームにも良かった。次のオートポリスでも連続表彰台記録を伸ばしたい”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“アンドレがポールを取り、そして優勝という最高の週末だった。チームは鈴鹿から連続して二勝目を得た。しかし、JP の給油が我々よりも短かったという点には注目しなければならない。そしてピットストップ後の JP の速さは素晴らしかった。アンドレの素晴らしいドライブのおかげで勝利することができたが、オートポリスに向けてもっと良いマシンを用意しなくてはならない”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“一貴が再びもてぎで良い走りを見せて表彰台フィニッシュを得て良かった。マシンはピットストップ前に良かったのにその後は苦しんだ。どうしてバランスがおかしくなってしまう JP を捕らえることが出来なかったのかを究明しなくてはならない。オートポリスでは再び優勝を狙う”

館 信秀 (Team Director)

“ドライバーやスタッフを含めて素晴らしいチームだ。もてぎで勝ち、我々は鈴鹿から二連勝できた。最高だ。予選結果がここでは重要な鍵で、この好成績を収めることができた。二人のドライバーはフロントローからスタートを切ってリードしたが、ピットストップのタイミングで一貴が2位のポジションを失ってしまった。一貴がなぜポジションをキープできなかったのかを解明しないとイケない。オートポリスでもこの強さを維持したい”